



いばらき県議会だより

茨城県議会 検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.221



いばらきの味覚を使用した「キャンプ飯」

https://ibaraki-camp.jp/how_to_enjoy_category/camp-meal/

詳しくは
こちらから



キャンプの楽しみの一つ「食」。茨城県は魅力ある食材の宝庫です。ぜひ県産食材を使って、茨城の味覚を満喫してみてください。



茨城県の海の幸を使用したパエリア



豚肉「常陸の輝き」の白菜包みロースト



生産量日本一のれんこんを使用したピザ



黒毛和牛の最高級ブランド「常陸牛」でBBQ

県公式キャンプ場情報ポータルサイト

「いばらきキャンプ」

<https://ibaraki-camp.jp/>

県内には魅力的なキャンプ場が数多くあります。



こちらから県内の
キャンプ場を検索
いただけます。



第3回定例会の概要

令和4年第3回定例会は、9月1日から9月28日まで28日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、茨城県議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例、防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書など、知事から、令和4年度茨城県一般会計補正予算、地方公務員法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例などが提出されました。

代表質問は、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた取組、県政運営、現下の難局を乗り越える県政運営などの項目について行われました。(2～3面)
一般質問は、アレルギーに対応した食料備蓄、新型コロナウイルス感染症の第7波における感染症対策、女性活躍の推進などの項目について行われました。(4～6面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、電気料金の高騰を踏まえた県庁内での節電対策、アクアワールド・大洗の運営方法などを議論しました。(7面)
予算特別委員会では、いばらきエネルギーシフト促進事業、水戸市の新川の治水対策、つくば市における県立高校の新設などの質疑を行いました。(8面)
新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会では、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた県の活性化に向けた諸方策の在り方について、調査・検討を行いました。(3面)

決算特別委員会では、令和3年度決算の総括的な概要などについて、県執行部から説明を聴取しました。(6面)
今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書、請願、決議などの27件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。

代表質問※1(要旨)

●質問者

9月6日(火)

石井 邦一

(いばらき自民党)

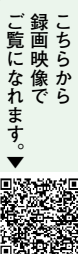
9月7日(水)

二川 英俊

(県民フォーラム)

八島 功男

(公明党)



https://ibaraki-pref.stream.jfpt.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=159



石井 邦一 議員
いばらき自民党
常陸太田市・大子町選出

デジタル田園都市国家構想の実現に向けた取組

議員 デジタル田園都市国家構想の実現に向け、これまでの地方創生の取り組みを踏まえつつどう取り組んでいくのか。

知事 地方創生をさらに加速させるには、デジタル技術を活用し、官民双方で地方におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)を積極的に推進することが必要である。より多くの市町村で国の構想実現に向けた取り組みが進むよう、全国の事例に関する情報提供や助言を行うなど、市町村と一体となって地方創生を推進するとともに、地域課題の解決にDXを効果的に組み合わせながら、「日本一幸せな県づくり」に全力で取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症への対応

議員 新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制などの充実・強化にどう取り組むのか。
知事 医療機関の役割分担や連携体制の強化、転院調整などにより入院先が見つからないという事態は回避できている。また、発熱外来がひっ迫したため発生届の対象を高齢者などに限定する見直しをいち早く行ったことから、外来のひっ迫が緩和され、医師が診療に注力できるほか、保健所が、高齢者施設などでの集団感染事例が発生する前から、現地指導できる環境を整った。併せて、自宅療養中の容態急変に備え、24時間体制で健康相談を受け付け、医療機関や消防機関とも連携しながら、必要な受診や入院の調整を行う。

農業分野における原油価格・物価高騰等への対応

議員 原油価格・物価高騰などに伴う燃油や飼料、肥料などの値上がり、本県の農業分野に深刻な影響を及ぼしているが、どう支援していくのか。
知事 飼料については、「配合飼料価格安定制度」における生

産者積立金の増額分の一部支援や、県内の食品残渣などの未利用資源の利用拡大など、輸入飼料に依存しない、より強い畜産経営体への転換を図るための予算を今定例会に計上した。また、肥料については、資源循環型農業への転換を図る農業者に対し、たい肥の施用などに必要な機械への支援などを行うとともに、燃油についても、燃油使用量の削減効果があるヒートポンプなどの導入を支援していく。

自然環境に配慮した太陽光発電の普及

議員 自然環境に配慮した太陽光発電の普及に、どう取り組んでいくのか。
知事 1畝を超える森林の開発は、森林法による許可の対象であり、中でも、太陽光発電の設置が目的の場合は、周辺部に残置森林を15%以上配置する基準を定めているほか、地域住民の理解を得るよう求めている。関係法令や太陽光ガイドラインの適切な運用など、自然環境に配慮した施策を進め、本県の豊かな環境をしっかりと守りつ

アウトドアの聖地・茨城の確立に向けた取組

議員 茨城県をアウトドアの聖地として売り出すべきと考えるが、取り組みをどう進めるのか。
知事 本県がアウトドアの聖地として確立するためには、多様なアクティビティが楽しめる「体験王国いばらき」のイメー



ソロキャンプを楽しむ様子

つ、適正な太陽光発電の普及を進めていく。

◆条例の一部改正
○茨城県議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆意見書
○防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書
○障害者虐待防止法の改正等を求める意見書
○電気料金をはじめとした物価高騰に対して対策を求める意見書
○性暴力の根絶に向けて地方自治体との連携強化を求める意見書
○教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書

◆決議
○安倍晋三元内閣総理大臣に哀悼の意を表し、暴力に屈しない健全な民主主義を守る決議

知事提出
◆令和4年度補正予算関係
○一般会計補正予算
○港湾事業特別会計補正予算
◆条例の制定および一部改正
○地方公務員法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
○茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
◆人事
○公安委員会委員の任命について
◆報告
○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について
◆その他
○土浦市とかすみがうら市との境界変更について
ほかに2件

請願
○教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

※意見書、決議および請願の全文は議会ホームページでご覧になれます。
https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/layori/layori202209.pdf/ikensyo.htm#1

ほかに7件

など幅広い層に訴求していく。また、デスティネーションキャンプを絶好の機会として、市町村や民間事業者との連携を強め、アウトドアの聖地としてのブランドの確立を目指す。(ほかに、茨城の発展を支えるインフラ整備、医療体制の充実なども質問)

第3回定例会の主な日程

令和4年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 9月1日(木) 本会議 (開会、知事提出議案説明)
- 9月6日(火) 本会議 (代表質問・質疑)
- 7日(水)
- 9月8日(木) 本会議 (一般質問・質疑)
- 9日(金)
- 12日(月)
- 13日(火)
- 9月15日(木) 常任委員会
- 16日(金)
- 9月20日(火) 本会議 (予算関係議案常任委員長報告等)
- 9月21日(水) 決算特別委員会
- 9月22日(木) 予算特別委員会
- 9月26日(月) 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会
- 9月28日(水) 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

今定例会で可決された議案など

議員など提出

◆条例の一部改正

○茨城県議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆意見書

○防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書

○障害者虐待防止法の改正等を求める意見書

○電気料金をはじめとした物価高騰に対して対策を求める意見書

○性暴力の根絶に向けて地方自治体との連携強化を求める意見書

○教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書

◆決議

○安倍晋三元内閣総理大臣に哀悼の意を表し、暴力に屈しない健全な民主主義を守る決議

知事提出

◆令和4年度補正予算関係

○一般会計補正予算

○港湾事業特別会計補正予算

◆条例の制定および一部改正

○地方公務員法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

○茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例

◆人事

○公安委員会委員の任命について

◆報告

○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

◆その他

○土浦市とかすみがうら市との境界変更について

請願

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

※意見書、決議および請願の全文は議会ホームページでご覧になれます。
https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/layori/layori202209.pdf/ikensyo.htm#1



代表質問(要旨)



二川 英俊 議員
県民フォーラム
ひたちなか市選出

県政運営

議員 いばらき幸福度指標は、社会情勢の変化などを踏まえた柔軟な対応や見直しが必要と考えられる。幸福度指標の導入により新しい茨城づくりの加速を期待する。幸福度指標を基に県政運営をどのように進めるのか。

知事 幸福度指標については、社会経済情勢の動きなどを踏まえ、不断の見直しを行っていく。幸福度指標を有効に活用しながら、変化や失敗を恐れず、新しいことに果敢に挑戦し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を目指していく。

自然環境に配慮したエネルギー対策

議員 市町村と連携した自然環境を守る形での再生可能エネルギーの促進や、太陽光発電だけでなくあらゆる再生可能エネルギーの導入促進が求められる。自然環境に配慮したエネルギー対策をどのように考えるか。

知事 地産地消型の太陽光発電など、再生可能エネルギーは、自然環境に配慮し、地域と共生した適正な導入が重要と考える。新たな施策にチャレンジしながら、市町村や関係事業者と連携し、自然環境に配慮したエネルギー対策に取り組んでいく。

県出身学生の県内就職支援

議員 大学進学を契機として、

県出身学生が県外へ流出する可能性は高く、県外に進学した学生を県内へ呼び戻す施策の充実が必要である。県出身学生の県内就職支援にどう取り組むのか。

知事 本社機能や研究施設にこだわって企業誘致を進めるなど、若者が望む質の高い雇用の創出に取り組むとともに、企業の情報が学生に伝わるよう、県内企業の魅力の発信を強化し、本県出身学生をはじめとする若者の県内就職を支援していく。

ひたちなか地区のまちづくり

議員 ひたちなか地区は、産業・観光・交流の面で重要な地区であり、地域経済の発展には、市や近隣市町村、県、国が一体となり取り組むことが必要である。今後のまちづくりをどのように進めていくのか。

知事 有数の発展可能性を持つ当地区の将来を見据え、未利用地の積極的な活用について、検討を進めていく。国や地元自治体など関係機関と緊密に連携し、目指すべき方向性を共有しながら、当地区のまちづくりに全力で取り組んでいく。

(ほかに、新型コロナ対策、小児医療費助成制度の対象拡大と所得制限の撤廃なども質問)



さらなる発展が期待される
ひたちなか地区



八島 功男 議員
公明党
土浦市選出

現下の難局を乗り切る県政運営

議員 生活必需品の値上げや円安、資源価格の高騰などが家計や企業経営を直撃している。生活者や事業者の負担軽減のための支援が必要だが、取り組みは。

知事 低所得の子育て世帯を対象とした県独自の給付金の支給や、学校給食の食材費への支援を行う。また、資源循環型農業への転換支援や飼料価格の高騰に対する緊急対策、観光関連産業への支援、エネルギー転換の支援強化などに取り組んでいく。

認知症の人や家族の視点を重視した地域づくり

議員 認知症対策は、その家族の支援も含め、地域住民とともに行う必要があるが、認知症の人やその家族の視点を重視した地域づくりへの取り組みは。

知事 認知症施策は「地域共生の実現が重要。市町村地域包括支援センターで、認知症の人などに地域全体で支援を行っているほか、「認知症サポーター」の養成に加え、今年度から認知症の人などが利用しやすいサービスや環境を提供する「認知症の人によさしい事業所」の認定を開始した。令和7年度までに500事業所の認定を目指す。

触れて感じる「美しい霞ヶ浦」

議員 触れて感じる「美しい霞ヶ浦」をつくるため、水質改善と

ともに、景観の再生、里浜の造成などが重要と考えるが、取り組みは。

知事 管理者である国と協調し、水質保全対策に取り組んでいる。また、国においては、行方市天王崎地区などの砂浜を整備したほか、県、地元住民などからなる協議会を設置し、自然再生事業に取り組んでいる。国に対し、水質浄化はもとより、美しさにも配慮した湖岸の植生や砂浜の保全・再生などを求めていく。

レンコンの消費拡大に向けた品質向上

議員 レンコンの消費拡大に向けて、味覚などを言葉にする「おいしさの見える化」、販売方法の工夫などとともに、糖度の高いレンコンの生産など品質向上が求められるが、取り組みは。

知事 食味などが優れた希少部位の商品化や長期輸送に適した包装資材を活用した商品づくり、栄養成分分析、食味などの数値化、新たな食べ方の提案、先進的な農業者の支援などを一体的に進め、本県産レンコンの品質向上などに取り組んでいく。

(ほかに、変異する新型コロナウイルス感染症の対策、中高一貫教育校における教育と学校経営の現状と今後なども質問)



レンコンの品質向上による消費拡大を

「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」を開催しました

本委員会(常井洋治委員長)は、今年3月の設置以降、「社会経済活動の対応」、「教育現場の対応」、「県民の命と健康、安全安心な暮らしを守る医療・福祉・警察等の対応」のテーマの下、「ウイズコロナ・ポストコロナを見据えた県の活性化に向けた諸方策の在り方」について調査・検討を行ってきました。

この間、第1回委員会から第4回委員会においては、県執行部から調査テーマに関する現状や課題などの説明を聴取したほか、各分野の第一線で活躍する有識者からも意見をいただきながら、活発な議論を行ってきました。

また、第5回委員会においては、提言の集約に向けた論点整理などを行いました。今後は、これまでの委員会における審議を踏まえ、最終的な提言の取りまとめに向けて、引き続き調査・検討を進めてまいります。



9月26日に開催した第5回委員会の様子

「G7関係閣僚会合誘致推進協議会」を開催しました

第3回G7関係閣僚会合誘致推進協議会(海野透会長)が9月28日に開催され、各委員および伊沢勝徳議長が出席しました。会議では、協議会が今年4月に行った誘致に関する国への要望活動について報告するとともに、県執行部から、本県での開催が決定したG7内務・安全担当大臣会合の概要などについて説明聴取を行いました。

また、協議会として県執行部へ提言を行うことや、提言の内容を審議するため、次回会議を第4回定例会中に開催することを決定しました。さらに、その後の質疑では、委員から、子どもたちも含め、県民に国際会議の開催を有意義に感じてもらえるような関連イベントの開催の検討などの要望がありました。

引き続き、来年のG7内務・安全担当大臣会合の開催に向けて機運の醸成などを図るため、検討を行ってまいります。



小田原潔外務副大臣への要望活動

一般質問(要旨)

質問者

9月8日(木)

中村 修 議員
いばらき自民党

遠藤 実 議員
県民フォーラム

高橋 直子 議員
いばらき自民党

9月9日(金)

高橋 勝則 議員
いばらき自民党

村田 康成 議員
いばらき自民党

大和田 寛樹 議員
いばらき自民党

9月12日(月)

村本 修司 議員
公明党

設楽 詠美子 議員
立憲いばらき

幡谷 好文 議員
いばらき自民党

9月13日(火)

飯田 智男 議員
いばらき自民党

江尻 加那 議員
日本共産党

下路 健次郎 議員
いばらき自民党

こちらから録画映像でご覧になれます。



https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=159



中村 修 議員
いばらき自民党
取手市選出

アレルギーに対応した食料備蓄

議員 今年6月に国が見直した防災基本計画に自治体の努力義務として明記されたアレルギーに対応した食料備蓄について、県としてどう進めていくのか。

防災・危機管理部長 市町村にアレルギー対応食品の備蓄を働き掛けるとともに、市町村支援のため、県でも一定量の備蓄を行っている。今後、備蓄が進んでいない乳幼児用ミルクの備蓄を図るほか、避難所運営に関わる方々に対するアレルギーへの理解促進に努める。



遠藤 実 議員
県民フォーラム
那珂市選出

新型コロナウイルス感染症の第7波における感染症対策

議員 第7波でどう対策を徹底し、感染拡大を防ぐのか。国と連携し、わかりやすく現状に即した施策を打ち出してほしいが、所見は。
知事 第7波では入院患者の増加により医療機関の負担が増加した。このため、医療従事者の早期職場復帰の促進や過去最多949床の確保に努めた。また、発症届の対象を限定する特例を全国に先駆けて運用し、保健所の負担を軽減した。引き続き施策の分かりやすい説明と県民不安の解消に努める。

子供の自殺対策の促進

議員 子どもの自殺の原因を把握し適切な対応が必要である。フリースクールへの支援強化なども必要であると考えるが、所見は。
教育長 自殺は何としても防がなければならぬ。そのため事案を分析し原因を把握するとともに、再発防止、未然防止に取り組んでいる。また、登校できない児童生徒には各学校でフリースクールなど一層の連携強化を図っていく。
(ほかに、気候変動適応計画の充実と市町村の策定支援、地区防災計画策定の促進なども質問)



子供の推進のさらなる自殺対策の相談室(公立学校の)



高橋 勝則 議員
いばらき自民党
古河市選出

県西地域の更なる振興

議員 人口減少と少子高齢化に歯止めがかからない現状で、県西地域が魅力ある発展を続けるために、にぎわいの創出が大切である。さらなる振興に向けてどう取り組むか。
知事 企業誘致や農業の成長産業化、生活環境の向上について、地元自治体とも連携し、未来産業基盤強化プロジェクトの新たな選定や大規模水稲経営体の育成、まちづくりに関する助言などにより総合的に推進し、多くの方々から選ばれる地域となるよう取り組む。



大雨により被災した宮戸川

県管理河川における頻発化・激甚化に対する災害への対応

議員 集中豪雨が顕著に増加し、古河市でも5月に宮戸川の法面が崩れた。復旧をどう進め、県管理河川における頻発化・激甚化する災害に対し、どう対応するか。
土木部長 本復旧に向けた工事費を今定例会で計上している。県管理河川では、堤防整備やきめ細やかな河川情報の提供など、ハード・ソフトの両面から対応を図る。
(ほかに、特別支援学校等へのパワーアシストスーツ導入、不登校児童生徒の新たな居場所づくりなども質問)

令和4年度9月補正予算案が可決

コロナ禍における原油価格・物価高騰などへの対応として、低所得の子育て世帯への支援や飼料・肥料高騰に直面する農業者への支援を行うほか、防犯対策の強化、社会資本の整備など、県政の課題などへ対応するために必要な事業について計上した令和4年度9月補正予算案(約118億900万円)が可決されました。

1 9月補正予算案に計上された主な事業
コロナ禍における原油価格・物価高騰等対策 (54億5300万円)

新 低所得の子育て世帯生活応援特別給付金事業(低所得の子育て世帯に対する県独自の支援金の交付)

新 飼料価格高騰緊急対策事業(配合飼料価格安定制度生産者積立金の増額分および自給飼料の生産拡大のための取り組みに対する支援)

新 資源循環型農業構造転換緊急対策事業(化学肥料を削減し、たい肥などの活用を図るために必要な機器整備などに対する支援)

2 県政の課題等への対応(7100万円)
新 観光施設民間活力導入検討事業(伊師浜国民休養地などの魅力向上に向けたマーケットサウンディング調査の実施)

3 社会資本の整備(62億8500万円)

つくば霞ヶ浦りんりんロードへの誘客促進

議員 初心者でもサイクリングを気軽に始められるよう、特に利用の少ない女性に向けた戦略的なPRが欠かせないと考えるが、誘客促進に向けた取り組みは。
県民生活環境部長 女性サイクリストの意見を反映したオリジナルTシャツの作成・販売など、女性や未経験者を含めた新たな利用者の創出に取り組んでいる。引き続き、サイクリストの目線に立った環境の整備を進めていく。
(ほかに、就学前教育の充実、フッ化物洗口の普及なども質問)



つくば霞ヶ浦りんりんロード

ケアラール・ヤングケアラール条例制定後の進捗
議員 昨年12月に成立したケアラール・ヤングケアラール条例を踏まえた取り組みの進捗状況はどうなっているのか。また、どのように政策を講じていくのか、その意気込みは。
福祉部長 児童・生徒や学校、支援機関などに対する実態調査の実施に加え、各市町村の相談窓口を明確化した。教育庁とも連携し、学校現場における相談機能の充実強化などにより、ケアラールの早期把握・早期支援につなげていく。
(ほかに、保育人材の確保、介護人材の確保なども質問)



ヤングケアラールによる幼稚園のケア

一般質問(要旨)



村田 康成 議員
いばらき自民党
神栖市選出

鹿島臨海工業地帯におけるカーボンニュートラルの取組

議員 鹿島臨海工業地帯が今後本県産業をけん引するにはカーボンニュートラル産業拠点創出推進基金^{※1}の活用や企業などへの投資促進も重要である。どう取り組むか。

政策企画部長 三菱ケミカル株式会社との戦略的パートナーシップ協定の締結をはじめ、産学官の連携強化を図っている。200億円の基金も生かしながら、企業の投資を1件でも多く呼び込み、鹿島臨海工業地帯のカーボンニュートラルの取り組みを全力で進める。



大和田 寛樹 議員
いばらき自民党
石岡市選出

デステイネーションキャンペーンを起爆剤とした観光振興

議員 ポストコロナを見据えた観光振興の起爆剤とするため、来年開催のデステイネーションキャンペーンに今後どう取り組むのか。

知事 デステイネーションキャンペーンが本県観光振興の起爆剤となるよう、引き続き、JRや市町村などと密接に連携し、インパクトのあるコンテンツ開発や話題性の高いプロモーションに取り組むことで、交流人口の増加と観光消費の拡大を図り、持続性のある稼げる観光を実現していく。

波崎漁港の整備と水産業の振興

議員 神栖市波崎の漁業の振興には、波崎漁港の後背地整備と波崎ブランドの確立が重要である。漁港の今後の展望と水産業の振興は、農林水産部長 入港・水揚量を増やすことが重要であり、大型漁船が安心して入出港できるように、防波堤の延伸などを進める。大規模水産加工場の建設を可能とする用地造成や道路・水道などを整備し、生産・流通基盤の強化を図る。

(ほかに、本県及び鹿行医療圏における医療政策、神栖市での高校教育の充実なども質問)



今後の整備が期待される波崎漁港

教職員の働き方改革の推進

議員 教職員の働き方改革は、教職員が本質的な業務に専念できるように、勤務環境の改善を着実に実施していくことが重要と考えるが、今後どう推進していくのか。

教育長 教職員が本来やるべき業務を精選するとともに、ICT化による事務の効率化を進め、教職員一人一人が、意欲とやりがいを持って本務に臨めるよう、働き方改革の推進に取り組んでいく。

(ほかに、デジタルデバイド^{※2}対策、養育費確保に向けた支援の充実なども質問)



本県観光振興の起爆剤に



村本 修司 議員
公明党
日立市選出

県北地域におけるものづくり力を活かした産業振興

議員 県北活性化には中小製造業の再興が近道であり、既存事業の拡大・拡充やつくば地域を中心とするベンチャー企業や大学・研究機関とのマッチングが重要と考えるが、今後どう取り組むのか。

産業戦略部長 今年度から産業支援機関と連携し、マッチングの場を設け新製品開発などを促進していく。今後、県北地域の企業にマッチング会参加を呼び掛けるとともに、県の制度融資や基金などにより企業ニーズに応じた支援を行う。



設楽 詠美子 議員
いばらき自民党
立花市選出

有機農業の推進

議員 有機農業の底上げのためにも、販路先を学校給食に求めることは重要であり、茨城版オーガニック学校給食の実現に向けて有機農業の推進にどう取り組むのか。

農林水産部長 生産者などで組織する「いばらきオーガニック推進ネットワーク」で有機農産物の供給先として学校給食も選択肢に入れつつ、販路拡大への取り組みを後押しする。また、有機農業の推進に向け、機材導入支援や販路開拓のプロモーションを実施する。

高齢者の移動手段確保のための未来型交通システムの構築

議員 高齢者の移動手段には、自動運転による人手不足解消やコスト低減に加え、AIを活用した呼出型最適経路バスのような利便性が重要だと考えるが、所見は。

政策企画部長 県内外の実証実験を通じて得られた知見を、関係者間で共有するなど、市町村や交通事業者などとの連携の下、デジタル技術も活用しながら高齢者の移動手段の確保に取り組む。

(ほかに、新産業廃棄物最終処分場建設における地域振興、大人の発達障害の支援なども質問)



高萩市AIバス「のるる」

子どもの育みのための森のようちえん^{※3}、ピアサポート^{※4}、性別平等のための生命の安全教育

議員 子どもたちには、森のようちえん、ピアサポート、生命の安全教育を通して、乗り越える力や支え合う心を育んでほしいが、茨城県で生まれた子どもたちをどのようにつくっていくのか。

教育長 命を尊ぶ心や他者への思いやり、規範意識や自主性、自己肯定感などの育成が重要であり、子どもたちの未来のため、豊かな心の育成に取り組んでいく。

(ほかに、安心して生涯を暮らせる茨城県づくり、医師確保と医学部新設なども質問)



有機農産物を学校給食へ

「茨城県議会と流通経済大学との相互連携・協力に関する包括協定」締結記念事業を実施

茨城県議会と流通経済大学との相互連携・協力に関する包括協定の締結を記念し、議会および大学で講演会などを開催しました。

7月21日、「光り輝く夢と希望にあふれた茨城の実現」と題し、学生の県議会に対する理解を深めるとともに、地域課題への関心や地域への愛着を深めることを目的として、伊沢勝徳議長が流通経済大学龍ヶ崎キャンパスで講演および学生との意見交換を行いました。伊沢議長から学生に対して、県議会の機能や取り組みなどを説明し、それに関して学生と活発な意見交換が行われました。

また、9月7日には、「ラグビーワールドカップまでの軌跡・サンウルブズ創設を背景に」と題し、流通経済大学の上野裕一学長が県議会議事堂で講演を行いました。上野学長は、ラグビーワールドカップ2019委員長・組織委員会理事などを歴任されており、アジアで初開催となったラグビーワールドカップ2019でベスト8入りした日本の人材発掘や育成などの強化過程などについて講演し、県議会議員と県執行部などの職員が聴講しました。

今後も、大学が持つ知見を議会の政策立案機能に生かすとともに、本県の将来を担う人材の育成を図るなどの取り組みを進めてまいります。



流通経済大学で講演する伊沢勝徳議長



県議会議事堂で講演する上野裕一流通経済大学学長



流通経済大学の学生と意見交換をする伊沢勝徳議長

ことば ※3【森のようちえん】…自然体験活動を基軸にした子育て・保育、乳児・幼少期教育の総称。
※4【ピアサポート】…仲間同士が支え合う関係をつくる活動のこと。

一般質問(要旨)



議員 幡谷 好文
いばらき自民党
小美玉市選出

地域防災力の向上

議員 水害に備えた対策の一つとして自主防災組織の活動が挙げられ、防災士などのリーダーづくりが重要だと考えるが、地域防災力の向上にどう取り組むのか。

防災・危機管理部長 自主防災組織のリーダー研修会をはじめ、防災士の資格取得にもつながる「いばらき防災大学」などを開催している。今後も市町村と連携しながら、自主防災組織の充実強化に取り組む。地域防災力のさらなる向上を図っていく。



議員 飯田 智男
いばらき自民党
常総市・八千代町選出

さらなる移住促進に向けた取組

議員 本県における昨年の人口移動が大幅な転入超過となった勢いを止めることなく、さらなる移住促進に向けて取り組みを加速させるべきと考えるが、今後の対応は。知事 若者に魅力ある雇用の場の確保を進めるとともに、UIJターンの促進や東京圏の若手人材と県内企業をマッチングする副業支援プロジェクトによる関係人口のさらなる創出に努める。加えて、空き家バンクの登録を促進し、移住者向け住まい情報の充実を図る。

県立特別支援学校の環境整備

議員 少子化が進む一方、特別支援学校などの児童生徒数は増加傾向にあり、教室が不足している。通学に長時間を要するケースもあるため、県立特別支援学校の環境整備が必要と考えるが、所見は。

教育長 「いばとくプラン」による施設整備を踏まえ、中長期的な児童生徒数の推移を見極め、廃校の活用を含めて特別支援学校の在り方を検討していく。



地域の防災リーダーを養成する「いばらき防災大学」

農産物の輸出拡大

議員 国内の市場で価格下落を起しやすいため白菜などの葉物野菜も含め、本県農産物の輸出拡大に向けてどのように取り組むのか。

営業戦略部長 本県農産物については、かんしよやコメ、常陸牛を主力に、戦略的に販路の拡大・定着を進めている。また、海外の高級レストランを対象とした試食会の開催など、本県農産物のブランド力向上にも取り組んでいく。

（ほかに、ひきこもり者への支援、コロナ禍における学校行事への対応なども質問）



シンガポールでの本県産白菜の販売の様子



議員 江尻 加那
日本共産党
水戸市・城里町選出

東海第二発電所の再稼働問題

議員 原発は安全より企業利益が優先され、未来に核のゴミを押し付ける。戦争で攻撃、占拠されることも現実になり、再稼働に反対することを求めるが、所見は。

知事 東海第二発電所の再稼働に向け、国が前面に立つて対応していくとされたが、安全性検証と実効性ある避難計画策定に取り組む。県民に情報提供した上で、県民や避難計画を策定する市町村、県議会の意見を伺いながら判断していく姿勢に変わりはない。

学校給食への地場産物・有機農産物の活用と給食費無償化の取組

議員 学校給食における地場産物や有機農産物の積極的な活用のほか、全ての小中学校の給食費を無償にすべきと考えるが、所見は。

教育長 学校給食での地場産物活用率が50%を超える市町村の割合が昨年度90・7%に達した一方、低廉な価格で同一規格の食材を大量に確保する必要があり、使用が難しい現状もある。給食費無償化は、政策の優先度、財政状況などを踏まえ、在り方を研究する。



学校給食の様子

HTTRへの期待と応援

議員 次世代エネルギーである水素製造に際し、二酸化炭素を排出せず、発電も可能なHTTRの支援にどのように取り組むのか。

産業戦略部長 HTTRによる水素製造の実用化には多くの課題があると聞いており、国へ予算の確保を要望していく。また、水素利用に高い技術力を持つ事業者と、供給の担い手企業との連携によるサプライチェーンの構築などを後押ししていく。

（ほかに、東海第二発電所の再稼働の必要性、事故を想定した拡散シミュレーションなども質問）



HTTRの外観（日本原子力研究開発機構提供）

県議会モニターから たくさんのご意見をいただきました

県議会では、県民参画推進の取り組みの一環として、県民から意見聴取・情報収集などを行い、県議会の活動や広報に反映させることを目的に、令和3年11月から「県議会モニター制度」を実施しています。今般、議会広報と議会活動について意見調査を行い、多くのご意見をいただきました。

議会広報では、県議会だよりについて「色使いも爽やかで、構成もシンプルで読みやすく良い」、県議会ホームページについて「重要な記事や用語などは、目立たせる工夫が必要」などのご意見をいただきました。

また、議会活動では、令和4年第1回定例会の中継や議事録などをご覧の上、「どのように使われるかだけでなく、どのような効果を生むか予算の内部に踏み込んで審議されている」、諸問題への対応策が条理化され、政策へと展開されることは、非常に有益と感じる」などのご意見をいただきました。いただいたご意見を踏まえ、改善できるものは改善し、より開かれた県議会を目指してまいります。

現在のモニターの方々は年度末で任期が満了します。次の年度に委嘱するモニターは、来年2月から3月頃に県議会ホームページで募集する予定です。ぜひご応募ください。

「決算特別委員会」を開催しました

9月21日に委員会を開催し、令和3年度決算における一般会計・特別会計・公営企業会計における令和3年度決算の総括的な概要のほか、県総合計画に掲げる政策・施策の進捗状況および数値目標の達成状況について、県執行部から説明を聴取しました。

第3回定例会閉会後の閉会中には、常任委員会を基本とする3つの分科会での部門別審査を行った後、総括質疑を行いました。

議会人事

◆委員会人事
高崎進議員が予算特別委員会委員を10月6日に辞任したことに伴い、同日付けで同委員会委員に田村けい子議員が選任されました。

常任委員会の審査から

営業戦略農林水産委員会

深刻な飼料・肥料価格高騰に対する対応は 県新規事業や国の事業により支援していく

問 深刻な飼料・肥料価格高騰に対して、農業大県としてどう対応していくのか。

答 配合飼料価格安定制度の生産者積立金の増額分を支援するほか、輸入飼料から国産飼料への転換を図る。また、国の事業により化学肥料低減に取り組み農業者へ肥料コスト上昇分の一部を支援しながら、県として堆肥の活用など資源循環型農業を推進する。

問 令和5年秋に実施するDC^{※1}の意義と、今後の観光事業の方向性は。

答 DCを契機に、地域の強みを見つめ直し、観光資源の磨き上げやコンテンツ・サー



総務企画委員会

電気料金の高騰を踏まえた県庁内での節電対策は 冷房28度設定など節電に取り組んでいる

問 県有施設電気料金などの価格高騰への対応について、県庁内で励行されている節電対策の内容は。

答 冷房時の室温28度設定や小まめな消灯のほか、扇風機の併用による空気の循環、日射が強い時や退庁時のブラインドの使用、最寄りの階への移動時の階段使用など、節電に取り組んでいる。今後も職員間で問題意識を共有し、節電の強化を図っていく。

問 水郡線や鹿島線といった赤字路線・区間について、どのように捉えているか。

答 地域住民などの足として、水郡線や鹿島線は大変重要である



ちょうどいい地方都市での暮らし

土木企業立地推進委員会

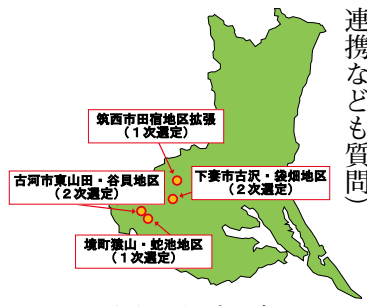
未来産業基盤強化プロジェクト^{※2}による開発の成功に向けた支援は 関係部局と連携し、事業化に向け支援していく

問 未来産業基盤強化プロジェクトによる開発の成功は各市町村の意欲を向上させる。当該プロジェクトを活用した土地取得の方法や造成手法の検討など成功に向けた支援は。

答 できるだけ迅速に市町村主導の計画を事業化するため、関係部局と連携し、市町村の実情に応じたきめ細かな助言や支援を行っていく。

問 建設資材の価格高騰が続き、受注業者などに影響が及ばないよう適正な設計単価の設定が必要だが、対応は。

答 鋼材など一般資材は単価を毎月改定し、生コンなどの主要資材は年4回の調査に加



未来産業基盤強化プロジェクトに選定されている3市1町の開発計画

防災環境産業委員会

アクアワールド・大洗の運営方法などを工夫したのか 希少なサメ「シロワニ」をPRしたイベントを開催した

問 アクアワールド・大洗の入館者数が6月と7月は歴代2位と好調だが、運営方法などを工夫したのか。

答 希少なサメ「シロワニ」をPRしたイベントを開催するなど、新たなファンの確保に向けた取り組みを行った。また、WEBニュースを活用するなど宣伝告知を工夫し水族館のブランド力向上などを心掛け、実績につなげている。

問 地域間競争の激化が予想される宇宙分野で、本県の宇宙ビジネス振興に向けた施策をどう展開していくのか。

答 JAXAと連携し宇宙産業のベンチャー誘致につなげ



本県で日本初の繁殖に成功した希少なサメ「シロワニ」

文教警察委員会

オンライン授業の今後の展開は オンラインと対面のベストミックスに取り組んでいく

問 コロナ禍でオンライン授業の導入が急速に進んだが、今後どう展開していくのか。

答 教員のICTスキルを高め、子どもたちの主体的、対話的で深い学びを実現できるように取り組む。学びの保障という面では、オンラインと対面の良さを理解した上で進めることが重要であり、今後はベストミックスを図りながら工夫して取り組んでいく。

問 県警では、SNSを用いた情報発信を活発に行っているが、これらのコンテンツをどう作成しているのか。

答 担当課や警察署に加え、動画作成の場合は県民安心セ



ユーチューブ「茨城県警察公式チャンネル」の動画例
<https://youtube.com/channel/UC1ouaUQ4vAjD3X39GBwHig>

保健福祉医療委員会

神栖済生会病院の新病院整備に向けた見通しは 早期整備のため引き続き支援する

問 神栖済生会病院の新病院整備について、資材高騰から実施設計の着手を見合わせていると報道があった。一日も早く住民が安心できる医療体制を構築してほしいが、早期完成に向け今後の見通しは。

答 神栖済生会病院は地元の中核病院として重要な病院であり、県として再編統合に関わってきた経緯があるので、早期に新病院が整備できるように引き続き支援していく。

問 コロナの罹患後症状について、こころの医療センターでは罹患後精神症状外来を設置したが、より受診しやすい仕組みにすべきではないか。

答 当外来は紹介状が必要で、治療方針を決定しかりつけ医で治療を行うもの。受診しやすくなるよう、関係機関と連携し周知や改善に取り組む。(ほかにも、原油価格・物価高騰などの対応、動物指導センターの環境改善なども質問)



新病院の早期整備を(神栖済生会病院外観)

予算特別委員会

質疑者

9月22日(木)



こちらから録画ご覧いただけます。

- 長谷川 重幸 (いばらき自民党)
- 玉造 順一 (立憲いばらき)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 豊田 茂 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (県民フォーラム)
- 高崎 進 (公明党)
- 川口 政弥 (いばらき自民党)

https://ibaraki-pref.stream.jit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=159

(ほかに、県の経済対策や生活支援の基本的方針、広域避難計画策定における住民参加と情報公開なども質疑)

山中たい子委員(共産)

つくば市では子育て世代など人口が急増し、学校建設が追い付かない状況。市民から県政へのさまざまな要望があり、コストコ南側の県有地を活用した県立高校の新設を提案するが、知事の所見は。

知事 県としては、周辺地域の生徒数も含め検討した場合、つくば市に県立高校を新設する必要性はないと考えており、質問の用地を学校用地として市と協議することは現時点で考えていない。つくば市が市立高校を検討する場合には協力していきたい。

(ほかに、洞峰公園の新たな事業計画、水道料金の引き下げなども質疑)

豊田茂委員(自民)

宿泊事業者は観光客を待ち望んでいる。目玉となる観光施策を今後どう進めていくのか。

知事 国の全国旅行支援が明らかになれば全国からの旅行需要を戦略的に取り込む。また、今秋のプレデスティネーションキャンペーンではアウトドアや食など効果的なプロモーションに取り組み。さらに、女将カードの配布など全国初の際立った特別企画を複数用意する。こうした取り組みにより、持続性のある稼げる観光を実現する。

(ほかに、部活動の地域移行への課題と今後のあり方、コロナ第7波を踏まえた課題と今後の方針なども質疑)

二川英俊委員(県民)

障害者を雇用することは、障害を抱えた方たちの生活基盤の向上とともに、社会の一員として寄与できる、自己肯定感の向上にもつながる。民間企業における障害者雇用率の向上にどう取り組むのか。

産業戦略部長 優良企業における事例の情報提供や、企業などへの個別訪問、就職面接会の開催、就労に必要な訓練などを行う。誰もが働くことを通じて社会参加できる共生社会の実現に向け、企業への雇用創出の支援から、就労支援まで、しっかりと取り組んでいく。

(ほかに、医師の時間外労働上限制制、中丸川の整備なども質疑)

高崎進委員(公明)

医療的ケア児の家族からの相談に応じ、適切な支援につなげていくためには、医療的ケア児支援センターの設置が必要と考えるが、設置時期はいつ頃を予定しているのか。

知事 医療的ケア児支援体制協議会で検討を進めた結果、県全域をカバーする相談機能や、市町村をまたいだ支援調整機能が必要との意見をいただいた。居住地域にかかわらず適切な支援を受けられるよう、医療的ケア児支援センターの年内の設置を進めていく。

(ほかに、難病患者への支援体制の強化、コロナ禍や物価高騰等で疲弊する中小企業への支援なども質疑)

川口政弥委員(自民)

生産性向上のための支援や新事業に挑戦する企業への支援など、メリハリのある融資や補助を行い、中小企業の成長と人材確保につなげていくべきと考えるが所見は。

産業戦略部長 新事業展開を目指す中小企業の挑戦を後押しするため、3年間無利子の融資制度を設けたほか、人材の育成や確保への助成も行っている。また、県産業技術イノベーションセンターではIoTなどを活用したビジネスプランの構築を支援している。

(ほかに、地域公共交通における財源の確保、ICTを活用した養殖産業の振興なども質疑)

県議会の録画中継をご覧いただけます

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各党派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただくことができます。議会活動を文字で読むだけでなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題を、より身近に感じていただけます。

県議会の録画中継は、左記のURLまたはQRコードからご覧ください。
<https://ibaraki-pref.stream.jit.co.jp/>



茨城県議会の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例が制定されました

第3回定例会で、議会運営委員会提案により、「茨城県議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」が制定され、令和4年9月22日から施行されています。

具体的な改正内容としては、議会の議員が、一つの定例会の全ての会議および委員会を欠席したときは、その定例会の翌月から、次に出席する定例会の会期の前月までの議員報酬を支給しないこととし、期末手当も減額されることを定めたものです。

(ただし、公務上の災害、出産、負傷または疾病の療養で医師の診断書の提出があった場合などは、この限りではありません。)

県議会は、今後とも改革を推進し、県民の皆様身近で開かれた議会を目指してまいります。

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/outline/r4/giingan3.pdf>



次回の、令和4年第4回定例会は、10月31日から11月16日までの17日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
10. 31	月	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
11. 1	火	休会(議案調査)
2	水	休会(議案調査)
3	木	(文化の日)
4	金	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
5	土	
6	日	
7	月	本会議(一般質問・質疑)
8	火	本会議 (一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
9	水	休会(委員会審査準備)
10	木	休会(常任委員会)
11	金	休会(常任委員会)
12	土	
13	日	
14	月	休会 (新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会)
15	火	休会(議事整理)
16	水	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)

*補正予算が提出され、予算特別委員会を開催するなど、会期日程が変更になる場合があります。